

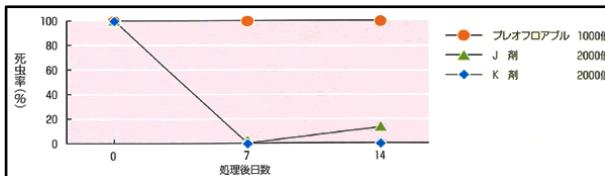
ブロッコリー防除 ホクサンおすすめ農薬

病害虫名	定植	定植7日後	定植14日後	定植21日後	定植28日後	定植35日後	定植42日後	定植49日後	収穫直前
	コナガ	ヨトウムシ	アオムシ	アブラムシ類	アザミウマ類	黒すず病	軟腐病	花蕾腐敗病	
ウララDF : アブラムシ類 ▶ 浸透移行性に優れ長期残効・耐雨性を有する、収穫前日まで使用可能、天敵に影響が少なくIPMにも使用可能									
デイアナSC : コナガ・ヨトウムシ・アザミウマ類など ▶ コナガに安定した効果、アザミウマ類の同時防除可能、収穫前日まで使用可能									
アディオン乳剤 : コナガ・アブラムシ類 ▶ 速効性に優れる、アブラムシの同時防除可能									
フローバックDF : コナガ・ヨトウムシ・アオムシなど ▶ チョウ目に殺虫活性、発生初期に有効									
エスマルクDF : コナガ・ヨトウムシ・アオムシなど ▶ チョウ目に殺虫活性、発生初期に有効									

殺虫剤	ウララDF : アブラムシ類 ▶ 浸透移行性に優れ長期残効・耐雨性を有する、収穫前日まで使用可能、天敵に影響が少なくIPMにも使用可能
	デイアナSC : コナガ・ヨトウムシ・アザミウマ類など ▶ コナガに安定した効果、アザミウマ類の同時防除可能、収穫前日まで使用可能
	アディオン乳剤 : コナガ・アブラムシ類 ▶ 速効性に優れる、アブラムシの同時防除可能
	フローバックDF : コナガ・ヨトウムシ・アオムシなど ▶ チョウ目に殺虫活性、発生初期に有効
	エスマルクDF : コナガ・ヨトウムシ・アオムシなど ▶ チョウ目に殺虫活性、発生初期に有効
殺菌剤	マスタピース水和剤 : 軟腐病・花蕾腐敗病など ▶ 作物への汚れが極めて少ない、収穫前日まで使用可能、使用回数に制限なし
	クプロシールド : 軟腐病など ▶ 使用回数に制限なし、作物への汚れが少ない
	スターナ水和剤 : 軟腐病・花蕾腐敗病など ▶ 軟腐病に優れた効果、ローテーションに組み込みやすい系統
	ケンジャプロアブル : 黒すず病など ▶ 高い予防効果、残効性・耐雨性に優れる、安定した防除効果

ブロッコリー防除

▼ 降雨条件下での試験



供試虫 : ハスモンヨトウ(4齢幼虫)
方法 : 所定濃度の薬液(展着剤5000倍加用)を
ボット植えキャベツに散布(50ml/3ボット)、
散布直後に1時間強制降雨(20mm/h)。
風乾後、室温内に保存し、所定日に供試虫を放飼。
放飼4日後に供試虫の生死を調査。
区制 : 10頭/区、3連制

イチ押しポイント！

- Point ① 長期残効と優れた耐雨性
- Point ② 天敵や有用生物への影響が少ない
- Point ③ ローテーションに組み込みやすい系統

マスタピース 水和剤

▼ ブロッコリーへの汚れ試験



方法 : 所定濃度の薬剤をブロッコリーに散布
(30ml/ボット、展着剤5000倍加用)。
室温内で3時間風乾。
風乾後、ブロッコリーの汚れを確認。

イチ押しポイント！

- Point ① 作物への汚れが極めて少ない
- Point ② 優れた耐雨性
- Point ③ 収穫前日まで使用可能
- Point ④ 使用回数に制限なし

登録内容 ※一部抜粋 2025年11月現在

農林水産省登録 第21333号
規格 : 500ml × 20
有効年限 : 5年
有効成分 : ピリダリル…10.0%

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ビリダリルを含む農薬の総使用回数
キャベツ	ウババ類 アオムシ オオタバコガ コナガ シロイチモジヨトウ ネギアザミウマ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	1,000倍	100～300 ℥ /10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
ブロッコリー	コナガ シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ						

登録内容 ※一部抜粋 2025年11月現在

農林水産省登録 第23259号
規格 : 100g × 30, 1kg × 10
有効年限 : 常温1年, 冷蔵4年
有効成分 : シュードモナス ロデシア HAI-0804株…5×109CFU/g

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シュードモナス ロデシアを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	花蕾腐敗病 軟腐病 黒斑細菌病	1,000～2,000倍	100～300 ℥ /10a	収穫前日まで	—	散布	—